

2019 年度 CSR レポート

対象期間:2019 年 4 月～2020 年 3 月



新城工場

 株式会社ヤマグチマイカ

2020 年 6 月 2 日
CSR 委員会作成

1. トップメッセージ

2019年度はCSR活動の一つとして自然災害への事前対策に取り組み、2020年1月、当社は中小企業庁「事業継続力強化計画」の企業認定を取得しました。現在、当社では新規にBCP委員会を設けて、南海トラフ地震を想定したBCP(事業継続計画)の策定と準備作業を推進しています。

一方で世界では、新型コロナウイルス(COVID-19)によるパンデミックが発生し、各国でロックダウン、日本国内で非常事態宣言など、あらゆる人的活動が制限されて我々に甚大な悪影響を及ぼしています。今回の経験から、ウイルス感染症に対しても我々人類はBCP的な観点で、事前の準備や計画を考えなければならぬと痛感しました。

当社でも、ウイルス感染症への準備はできておりませんでした。早い段階で社内外の影響を想定した対策ができたことは、CSRやBCPの活動や考え方が根付き始めたからだと思います。

2020年度は、BCP、SDGs、環境をキーワードとした取り組みに力を注ぎます。そして世界中が平和で安全、安心な生活ができることを祈りつつ、未来に向けて持続可能な社会作りにも貢献します。

株式会社ヤマグチマイカ 代表取締役

山口卓巳



2. 経営理念、品質方針、環境方針

経営理念

1. ヤマグチマイカはマイカを主体とした粉体の製造販売を通じて、
社会の繁栄と発展に貢献する
2. その活動において、社会の規律を遵守し、
人権尊重、地球環境保全に努め、社会の模範となる
3. 会社の発展と共に顧客、業者、社員の相互反映を目指す

品質方針

- (1) 常に変化するユーザーニーズに合った商品をアピールし提供する
- (2) ユーザーに「信頼」と「感動」を与えられる独自商品を開発する
- (3) ユーザーが求める品質、価格、納期、サービスを提供できる体制に改善し続ける

環境方針

- (1) 環境関連の法規制、協定、当社が同意するその他要求事項
及び当社の自主規制を遵守する
- (2) 当社の企業活動が環境に与える影響を考え、
環境への負荷低減を図り、地球環境保全に努める
- (3) 目的、目標、計画を定めて、規制対応や環境汚染防止、
省エネルギー、省資源、リサイクルなどを継続的に推進する

3. 会社概要

会社名	株式会社ヤマグチマイカ
所在地	本社： 愛知県豊川市 豊橋工場： 愛知県豊橋市 新城工場： 愛知県新城市 (協力工場： インド アンドラプラデシュ州)
創業(設立)	1951年4月(法人設立1960年8月)
資本金	4,760万円
年商	11.9億円(2019年9月決算実績)
業種分類	窯業・土石製品製造業
事業内容	マイカその他無機鉱物の粉体製造、および粉体加工処理
生産品目	湿式粉碎マイカパウダー、乾式粉碎マイカパウダー、 湿式粉碎タルクパウダー、フオトクロミック顔料、 各種処理(表面処理、熱処理、マイカ造粒など)
従業員数	70名(うち派遣社員6名、2020年3月)
生産量	湿式粉碎:2,500t/年、乾式粉碎:1,000t/年
主な販売市場	プラスチック、化粧品、塗料、ゴム、陶器



本社(1954年、旧 小坂井町)



本社(現在、豊川市)
敷地面積: 約 5,000 m²



豊橋工場
敷地面積: 約 5,000 m²



新城工場(2018年9月稼働)
敷地面積: 約 27,000 m²

4. 沿革

1951	愛知県豊橋市で創業、マイカパウダーの生産を開始
1954	愛知県宝飯郡小坂井町(現在の豊川市)に移転
1960	「株式会社山口雲母工業所」設立
1978	化粧品向けに採用(製品の品質向上、多品種生産が進む)
1988	豊橋工場新設
2003	豊橋第二工場新設
2004	ISO9001 認証取得(LRQA、2017年に2015版に更新)
2005	インド協力工場にて湿式粉碎品の生産開始
2009	インド協力工場にて乾式粉碎品の生産開始
2010	「株式会社ヤマグチマイカ」に社名変更
2016	CSR経営宣言(CSR委員会設置)、国連グローバルコンパクト加盟
2018	新城工場新設、生産開始
2019	豊橋第二工場の閉鎖(新城工場移設)
2020	BCP委員会設置、中小企業庁「事業継続力強化計画」の企業認定取得

5. CSR取り組み

ヤマグチマイカは、以下に示す国連グローバル・コンパクトの4分野10原則に賛同します。

人権	原則1 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、 原則2 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
労働	原則3 企業は、組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、 原則4 あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、 原則5 児童労働の実効的な廃止を支持し、 原則6 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
環境	原則7 企業は環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、 原則8 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、 原則9 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
腐敗防止	原則10 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

ヤマグチマイカは、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けて、企業活動において具体的な取り組みを考え、実行します。



5-1 企業統治

【2019 年度実績】

- CSR 経営と社内の各活動を関連付けして全社員へ理解を促すため、毎月の CSR 委員会で具体的な社内業務に落とし込み、以下内容の実施および進捗管理。
「原料調達」、「BCP 策定」、「人事制度改革」、「心と体のケア」、
「製品開発」、「消費者課題対応」、「安全衛生」など
- 2019 年 9 月の会社方針発表会にて、企画部長より当社 CSR 活動の説明。
- 毎月の経営会議、マネージャー会議で進捗報告。

【2020 年度予定】

- CSR 委員会の継続。
- CSR 経営・SDGs と社内活動との関連付けと、社員の意識向上。
- 別に設置した BCP 委員会により、南海トラフ地震発生を想定した当社 BCP を策定。

5-2 人権

【2019 年度実績】

- 当社独自の原料サプライヤーCSR 監査用フォームを作成し、運用を開始。
2019 年 11 月にはインド現地で、当フォームを用いて原料サプライヤー1 社を監査。
今後、当社による監査と第三者機関による監査を効果的に組み合わせ、定期的かつ継続して実施できるよう体制を整えた。
- インドの原料採掘地域全体の児童労働撲滅を目指す NGO 団体「Responsible Mica Initiative(RMI)」に加盟しており、現地の情報収集とともに、当団体を通じた該当地域の児童労働の撲滅への協力を継続。

【2020 年度予定】

- 2019 年 11 月に当社が監査したインドの原料サプライヤー1 社に対して、第三者機関による監査の実施。
- インドの原料サプライヤー3 社に対して、当社による監査の実施。
- NGO 団体 RMI の活動を通じた児童労働撲滅への協力。

5-3 労働慣行

【2019 年度実績】

- 働き甲斐の向上のため、新しい人事評価制度および昇給昇格制度を策定。
次期(2020年10月から)導入に向けた移行期間として、従来制度の一部見直し、評価者訓練を実施し始めた。
- 2019年10月から安全衛生委員長がCSR委員会に参加し、安全作業や職場環境に関わる事項の検討および実施決定を迅速化。

【2020 年度予定】

- 働き甲斐の向上のための新しい人事評価制度および昇給昇格制度の運用開始。
- 製造現場の暑さ対策の推進。
- 社外ツールを利用した定期的なストレスチェックの実施。
- テレワーク(在宅勤務)環境の整備。

5-4 労働慣行

【2019 年度実績】

- 社内文書の電子化を推進し、工場間での回覧・承認が必要な文書の約50%をペーパーレス化。
- 新城工場の稼働率向上による生産効率化を推進。

【2020 年度予定】

- 環境方針、環境管理規定を、具体的な活動に落とし込む。(例えば、全社での電気・ガス・水道使用量と生産数量との関係を数値で把握し、2021年度の数値目標を策定する、など)

5-5 事業慣行

【2019 年度実績】

- 風通しが良く働きやすい企業風土を作るため、全社員に対してハラスメントアンケートを実施。また、調査結果を職場へフィードバックして、改善を図る。
- サプライチェーンに対するコンプライアンスの意識付け、改善を目指し、「強制労働・児童労働の禁止」、「反社会的勢力との取引きの拒絶」、「収賄の禁止」を明記した原料取引基本契約をインドのマイカ原料の全サプライヤー、中国のタルク原料の全サプライヤーと締結できた。

【2020 年度予定】

- ハラスメントアンケートの定期的な実施。
- 原料サプライヤーと信頼関係を強固にして安定調達に繋げるため、当社の長期的発注計画の提供や、サプライヤーの原鉱石の在庫、加工、出荷までのスケジュール共有化など、新たなサプライチェーンマネージメント構築を検討する。

5-6 消費者課題

【2019 年度実績】

- 化粧品向け天然マイカパウダーにおいて、他社にない厳しい重金属管理が可能な製品グレードの量産化を実現した。
- インド産マイカ原料の調達においては、従来より、一部サプライヤーの第三者機関監査、そして全サプライヤーの自社調査結果から、児童労働の関与がないサプライヤーに限定して取り引きしている。それに加えて、更にお客様にご安心いただけるよう、「第三者機関監査を実施する対象サプライヤー数を増やし、計画的に実施する」今後3年間の原料調達方針を定めた。
- 豊橋第二工場を閉鎖、外部倉庫の契約を終了し、新城工場への移設および集約をすることで、業務効率化ができた。

【2020 年度予定】

- 粉体加工を中心とした、顧客ニーズを満たす製品開発の継続。
- 2019年度に定めた原料調達方針の推進。

5-7 コミュニティ参画・開発

【2019 年度実績】

■ 地域社会

- ・2019 年 4 月、新城市労務対策協議会に入会。安全衛生勉強会などに参加。
- ・2019 年 5 月、中高生を対象にした地元企業説明会「しんしろ企業展」に出展。
- ・2019 年 10 月、豊川市小坂井地区の催事でのボランティア参加。

■ 人権・環境団体

- ・国連グローバル・コンパクト、NGO「RMI」、NGO「ACE」の参加や交流、活動を継続。

■ CSR プラットフォーム

- ・「Sedex」、「EcoVadis」の登録継続、情報開示。

■ 学術団体、産業団体

- ・「自動車技術会」、「日本化粧品技術者会」、「化粧品原料協会」、「ポリオレフィン等衛生協議会」、「フィルター研究会」などへの参加継続。

■ ウェブサイト

- ・英語版ウェブサイトをリニューアルし、CSR 活動をアピール。

【2020 年度予定】

- 地域社会、人権・環境団体、産業・学術団体への参加継続
- CSR プラットフォームや WEB サイトでの CSR 情報開示の継続

6. CSR に関わる当社の所属団体

【国連グローバル・コンパクト】

【Sedex】

【EcoVadis】

【NGO「RMI(Responsible Mica Initiative)」】

【NGO「ACE」】

7. 当社の CSR 情報について

ヤマグチマイカは、CSR レポートを毎年更新して、当社ウェブサイトで公開します。
また、当レポートに関するお問い合わせは、下記担当者までご連絡ください。

部署	株式会社ヤマグチマイカ 企画部
担当者	CSR 担当 伊藤もしくは西田
メールアドレス	csr@ymsc.co.jp
TEL	0533-72-2188
FAX	0533-72-5157